

# EXPO 2005 AICHI だより

2001年(平成13年)10月24日号

## No. 14

<http://www.expo2005.or.jp>

## 「自然の叡智」を縦糸に、「地球大交流」を横糸に 幅広い参加と交流の博覧会

### 愛知万博の基本計画骨子発表



博覧会協会は、7月23日の愛知万博推進最高会議において、「愛知万博の基本的な枠組み」と「プロデューサー体制」の合意を得た後、プロデューサーの指導のもとに「愛知万博の基本計画」の策定に取り組んできました。

「基本計画」は、「基本的な枠組み」として、「自然の叡智」をテーマとする愛知万博事業を実現するための推進計画を具体化するもので、このほどこその大筋の方向を「愛知万博の基本計画骨子」としてこのほど取りまとめました。

基本計画骨子については今後、「コスト、環境アセスメント、タイムスケジュール、魅力度等の面で更なる検討を加える」とともに、その肉付けを行った上で、本年11月末をめどに「基本計画」として策定します。

### 地球大交流の場「グローバル・コモン」と、それらをつなぐ「グローバル・ループ」

青少年公園地区では、会場の中核的な存在として、「グローバル・コモン」と「グローバル・ループ」を設けます。

#### 上:「グローバル・コモン」

「地球大交流」を実現するため、公式参加国や国際機関が集い、国や文化の違いを超えて多彩な交流を行うためのグローバル・コモン(地球共有地)を創造します。

#### 右:「グローバル・ループ」

自然環境に配慮しつつ、バリアフリーや会場のわかり易さ等を提供するグローバル・ループにより、あらゆる人々が容易に世界一周を体験、地球大交流が可能となります。



#### CONTENTS

愛知万博メッセージ	2
参加形態	3
事業構想	
・海上地区	4
・青少年公園地区	5
会場計画	6
観客輸送計画、会場運営計画	7
愛知万博の概要	8

## EXPO 2005 AICHI

## 愛知万博メッセージ

地球の総ての“いのちと未来”のために、  
私たちは世界の人々に呼びかけます。

20世紀には、新しい地球社会が生まれた。

信じられないほどの高速移動手段の発達と情報・通信技術の進化が、人・モノ・情報の交流を地球規模で活性化させ、世界を一変させたのだ。

巨大化した人類の活動は、地球自然の許容量を超え、さまざまな危機を知らせるシグナルが点滅し始めている。

地球上の総ての「いのち」の持続可能な共生を、全地球的視野で追求することが、地球社会の構成員総ての課題となった。

この課題を解決するために、私たちは愛知万博のテーマである“自然の叡智”を縦糸に、豊かな交流を横糸にして、地球社会を包む、柔らかく、豊かさと美しさにあふれる織物を織り上げようと思う。それは地球社会の新しく、美しい装いになるだろう。

「自然のもつすばらしい仕組みと、いのちの力」に感動し、世界各地での自然とのさまざまなつき合い方、知恵に学びながら、多彩な文化・文明の共存する地球社会を創ろうではないか。

国家・地域・企業・自立した市民・NPO NGO、ボランティアなどの地球社会を支える人々の多様な営みと多彩な参加が、美しい織物を織り上げるだろう。

多様な交流が様々な摩擦を生むこともある。だからこそ、私たちは人類の持つ理性と愛と美しいものへの憧憬を、大切に育てたい。

人間らしい交流の原点とは、何だろう。

それは人が人と出会い、語り合い、理解し合い、尊敬し合い、愛し合うことにあるのではないか。

そのための交流の舞台“EXPO 2005 AICHI”をつくろうと思う。

私たちは世界の人々に呼びかける。

AICHIに集まろう。互いに見つめ合い、微笑み交わし、抱き合い、多彩な知恵の交流する世界を、全身で体験し、全感覚で楽しもう。

地球の総ての“いのちと未来”のために!!

## EXPO 2005 AICHI

## 参加形態

## 1 市民、NPO/NGOの多彩な参加

- (1) 海上地区の「市民交流舞台」への参加  
市民が自ら企画・運営する実行組織を設け、市民参加プロデューサーのサポートの下に、展示、催事への積極的な市民参加活動を推進します。
- (2) 積極的なボランティア参加への取り組み  
当協会の外に「愛知万博ボランティア協会（仮称）」を設立し、ここを通してボランティアの活発な活動を支援します。
- (3) 国際的なNPO/NGOの参加による「地球市民村」の展開  
世界的規模のNPO/NGOの積極的な自主参加を促進します。

## 2 企業の多様な参加

企業からは一般的な会場建設費寄付の形で、多大な基礎的な参加を得ていますが、会場内への特定の参加としては、次のような参加方式が考えられます。

- (1) パビリオン出展参加
  - ① 企業または企業グループ等による単独館
  - ② 複数の企業または企業グループによる特定テーマ共同館
  - ③ 建物の内部を区切った集合館
- (2) 協会企画事業への参加
- (3) 技術提供参加  
新エネルギー、供給システム、IT、会場内輸送などの技術やシステム、設備、機器の提供
- (4) 催事参加（主催、共催、協賛、後援等）
- (5) 広告参加、営業参加、資金参加等

## 3 団体・組織の参加

団体・組織が特定の施設を建設・提供する参加や運営に協力する参加等



「地球市民村」

国際的NPO・NGOの参加を得て、自然環境と一体化した小規模パビリオンや領域型の展示システム、フィールド・ミュージアムやエコ・ツーリズム等の複合的な交流事業を展開します。

## 4 広域連携による参加

- (1) 会期中の広域連携参加
  - ① 愛知県内市町村、近県自治体、企業・団体、市民等が各々の地域で有する催事などを、広域連携参加事業として位置づけ、会場内外に広域連携マップ等で紹介します。
  - ② 会場と広域連携参加事業を結んだ「産業観光ツアー」「体験ツアー」等を万博と一体でPRします。
  - ③ 外国公式参加者をサポートするため、愛知県内市町村との連携により、「一市町村一国フレンドシップ」の構築を図ります。
- (2) 会期前のイベントへの参加  
自治体、企業、市民等の事業やイベントと連携し、世界大会やコンベンション、音楽会、展覧会等を広域連携参加事業として位置づけます。

## 愛知万博の参加構造

主要な参加の形式		主要な出展参加方法
公式参加	国 国際機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>●公式参加国の可能な限り多くの参加を目指し、多様な文化・文明交流博としての質と規模を実現する</li> <li>●より多くの国際機関の公式参加を促進し、愛知万博のテーマ性をより高める工夫をする</li> <li>●モジュール単位によるパビリオン出展参加</li> <li>●エリアやブロックごとの魅力的な共有空間や演出空間づくりへの参加</li> <li>●パビリオン出展に併せ、ナショナルデー、屋外展示、催事、国際会議等のパビリオン出展以外の参加</li> </ul>
	日本政府	●日本政府による愛知万博のホスト国としての出展参加
一般参加 (含む海外)	自治体	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ホスト役としての愛知県や名古屋市等地元自治体の参加</li> <li>●広域圏規模での自治体の参加</li> </ul>
	企業 団体 NPO/NGO 市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>●パビリオン出展参加、協会企画事業参加など多彩な選択肢</li> <li>●団体・組織の多様な参加</li> <li>●市民が自ら企画・運営する実行組織の設置</li> <li>●積極的なボランティア参加</li> <li>●国際的なNPO、NGOの参加による「地球市民村」の展開</li> </ul>
	営業参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>●テーマ営業参加（博覧会のテーマや出店者の自主テーマに合わせた営業参加）</li> <li>●一般営業参加（物販飲食営業参加／公式記念品営業参加等）</li> <li>●有料サービス参加</li> </ul>

# EXPO 2005 AICHI

## 事業構想

### 事業構想の 基本的考え方

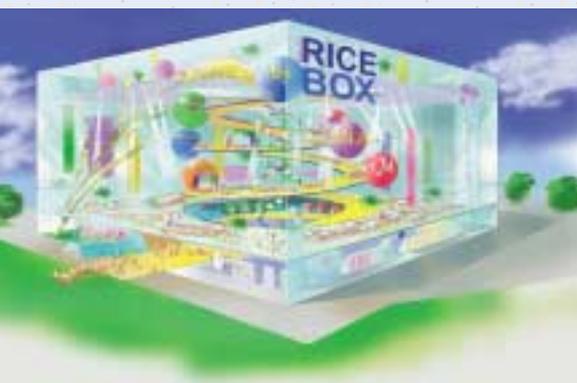
「自然の叡智」を巡る多様な知恵と文化を  
持ち寄る『地球大交流博覧会』

- ①文化・文明の多様性を体験・共感します。
- ②地球規模でのムーブメントを創出します。
- ③産・官・学・市民のコラボレーションによる  
新たな社会実験の場とします。
- ④参加体験学習(ラーニング・エクスペリエンス)  
の機会と場を多彩に創造します。
- ⑤日本の文化観光交流立国への歩みを加  
速させます。

### ●クリエイティブ・プラットフォーム・イニシア ティブ(CPI)【協会企画事業】

博覧会協会が企画し、国や自治体、民間企業、さら  
にNPOや市民などの幅広い参加を得て推進する事業。

「グローバル・ハウス」における展示演出や催事、  
「地球大交流広場」や「水と光と風のスペクタクル広  
場」における催事に加え、「地球市民村」(3面参照)  
など、個性的で魅力ある事業を展開します。



#### 「食と農」事業

「食と農」の未来を考えるとともに、「食と農」の大切さや楽しさが体験  
学習できます。



#### 「遊びと文化・創造力遊園地」事業

既存施設の愛知県児童総合センターなどを活用し、子供も大人も参  
加体験できる体験学習(ラーニング・エクスペリエンス)型の新しい遊  
園地を展開します。

## 【海上地区】

「愛知万博の原点」として、自然、陶磁器、里山など、  
この地ならではの特色を最大限効果的にアピールするとともに、  
市民の主体的な参加と交流を核とした事業を展開します。



### ●自然と人間が主役の 政府出展施設

自然と調和した存在感の  
ある建築空間を創造します。  
また、自然との一体感を満喫  
できる「安らぎの場」として、  
日本人の自然との関わりをア  
ピールします。



### ●エコ・コミュニティ を提案する 愛知県出展施設

21世紀の「エコ・コミュニ  
ティ」について、体感しても  
らうとともに提案する場と  
します。



### ●協会企画事業としての 「市民交流舞台」

市民参加・交流活動の場  
として、展示施設や催事施  
設、参加体験広場などで構  
成され、市民参加実行組織  
のもとで推進されます。

### ●陶磁器でつくる広場

政府出展施設、愛知県出展施設、市民参加のパビリオンなどと調和した、市  
民や内外の産地からの陶磁器で造る広場を万博メモリアルとして設けます。

## [ 青少年公園地区 ]

外国公式参加者をはじめとする多様な参加者や来場者が集い、地球大交流を体験する「にぎわいの場」にふさわしい事業を展開します。

**地球大交流の場「グローバル・コモン」**  
**グローバル・コモンを結ぶ「グローバル・ループ」**  
 (1面参照)

### 自然の叡智と大交流を体験する 「グローバル・ハウス」

グローバル・ループの中央には、既存施設の温水プールとアイススケート場の大きな空間を活用した「グローバル・ハウス」を設け、クライマトロン（閉鎖型人工気象室）やバーチャルリアリティなど斬新な展示演出と先端技術を用いて、「人類と地球の共生」を印象的に表現します。

### 「地球大交流広場」と 「水と光と風のスペクタクル広場」

グローバル・ハウスの両側には、地上(大芝生苑)と水上(この池)の大催事場を設け、世界の様々な祭りや民俗芸能の大集合や「水の惑星=地球」をテーマに昼・夜・春・秋の変化に対応した演出を行います。



地球大交流広場



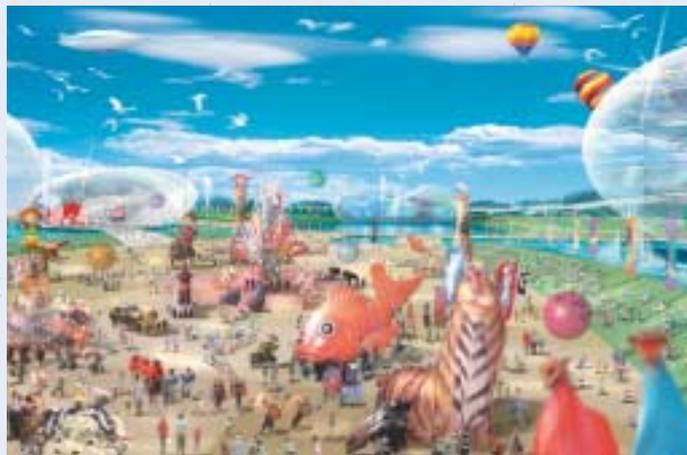
水と光と風のスペクタクル広場



グローバル・ハウス

### 地球時代に貢献する日本をアピールする 「日本ゾーン」

ホスト役としての「日本政府館(日本館・テーマ館)」や愛知・広域交流館、名古屋市館、日本交流広場を配し、日本文化の魅力を総合的にプレゼンテーションします。



日本ゾーン

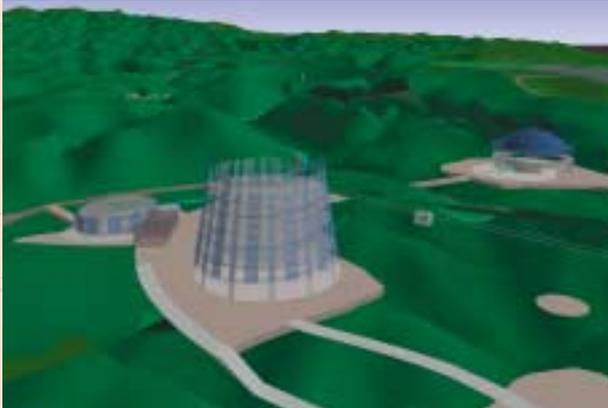
### ホスピタリティにあふれた 「ゲートシティ」

地球大交流の起終点として情報、サービス、交流などの各種要素を有した、マルチな都市空間として計画します。



## 会場計画

海上地区イメージ図



青少年公園地区イメージ図



## 1 「海上地区」と「青少年公園地区」の一体化

- (1) 愛知万博のオリジン(原点)として、里山の自然を生かした海上地区
- (2) 水と植物と豊かな起伏を生かした「にぎわいの場」としての青少年公園地区

## 2 会場の基本軸「テーマ軸」と「交流軸」

- (1) 青少年公園地区の西口ゲートと海上地区を結ぶ、夏至の日の日の出軸を「テーマ軸」と位置付けます。
- (2) 青少年公園地区の北口ゲートから公園南端を結ぶ軸を「交流軸」と位置付けます。

## 3 海上地区の骨格

「政府出展施設」「愛知県出展施設」「協会施設」

## 4 青少年公園地区の骨格

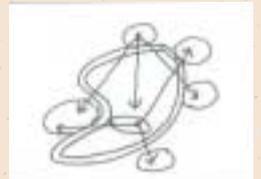
「グローバル・コモン」「グローバル・ループ」「センターエリア」「日本ゾーン」

- (1) 6つの「グローバル・コモン」を展開します。
- (2) グローバル・コモンを結ぶ「グローバル・ループ」は、①バリアフリー、②会場全体のわかり易さ、③自然環境への配慮、④立体的会場構成などの利点を持ちます。
- (3) 「グローバル・コモン」と「グローバル・ループ」の一体化は、未来都市のモデルづくりとなります。
- (4) 「センターエリア」には、「グローバル・ハウス」などの話題性のある集客施設を展開します。
- (5) 「日本ゾーン」は、日本政府館、愛知・広域交流館、名古屋市館などで構成します。

## ループの利点



①バリアフリー  
起伏のある会場をフラットに巡る事ができる。



②会場全体のわかり易さ  
ループによってグローバル・コモンや各施設の位置がわかり易くなる。



③自然環境への配慮  
土地の改変を少なくし、動植物へ配慮する。

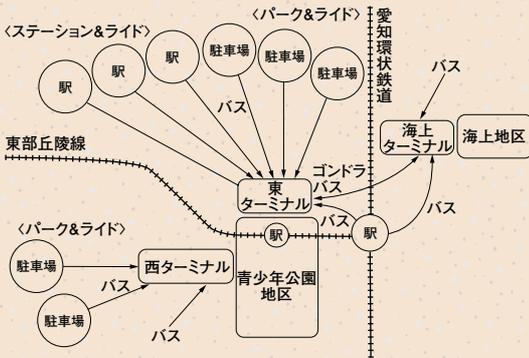


④立体的会場構成  
空中、ループ、地上の3つのレベルで会場内を移動できる。

# EXPO 2005 AICHI

## 便利さと快適さをめざす 観客輸送計画

会場アクセスイメージ図



### 1 会場へのアクセス

- ① 環境への配慮
  - ・鉄道（愛知環状鉄道や東部丘陵線）、低公害シャトルバスを複合的に活用します。
- ② 地域への配慮
  - ・周辺道路混雑や住民生活への影響を極力緩和します。
- ③ 来場者への情報提供
  - ・インターネット、携帯電話やカーナビなどを活用して、来場者へのきめ細かな情報提供を行います。
- ④ 移動時間、移動空間の演出
  - ・会場へのシャトルバス等を走るパビリオンとし、博覧会の楽しさを演出します。
- ⑤ 最適なルートと輸送能力設定
  - ・来場者の動向に合わせた多様で快適なアクセスを実現します。

### 2 地区間移動

- ・海上地区と青少年公園地区間の移動はシャトルバスに併せゴンドラを導入します。

### 3 会場内移動

- ・多様な乗り物を用意し、楽しみながら移動してもらいます。
  - ① ピープル・ムーバー（1～数人用）
  - ② ネオ・ビークル（場内を回遊する多人数用）

## 安全とサービスをめざす 会場運営計画

〈会場運営に当たっては以下を重点項目とします〉

- ① 安全性の確保
- ② 快適で便利な会場サービス
- ③ おもてなしの心
- ④ ボランティア参加
- ⑤ 環境への配慮（3R:リデュース・リユース・リサイクルの実践）
- ⑥ ITの積極活用
- ⑦ バリアフリー
- ⑧ ローコスト・オペレーション

## 施設規模計画

### ① 屋内施設面積

青少年公園地区		建築物面積
展示施設	92,000～99,000㎡	公式参加出展(外国) 52,000～55,000㎡ 政府館(日本館・テーマ館) 5,000～6,000㎡ 自治体館 4,000～5,000㎡ 協会事業・民間館 31,000～33,000㎡※
催事施設	13,000～14,500㎡	大催事施設 8,000㎡ 小催事施設 2,000㎡ コンベンション施設・ギャラリー 3,000～4,500㎡
管理・交流施設等	71,100～72,600㎡	管理・交流施設 55,800～57,300㎡ 営業施設 15,300㎡
合計		約176,000～約186,000㎡
既存施設		10,000～12,000㎡
合計(既存施設除く)		約166,000～約174,000㎡

※ 既存施設利用を含む

### 海上地区

展示施設	9,800㎡	政府施設(国) 3,800㎡ 愛知県施設 3,000㎡ 協会施設 3,000㎡
その他施設	4,500㎡	管理施設等 3,500㎡ 営業施設 1,000㎡
合計		14,300㎡

### ② ループ等

ループ等	80,000㎡
合計	80,000㎡



## 愛知万博の概要

## 開催の概要

## 1 開催の目的

21世紀の人類が直面する地球規模の課題の解決の方向性を発信するため、国際博覧会に関する条約に基づき、多数の国・国際機関の参加の下、地球時代の新たな国際貢献として開催される。

- ① 壮大な文化・文明創造事業
- ② 日本から世界への発信
- ③ 現在から未来への発信

## 2 名称

正式名称:2005年日本国際博覧会  
略称:愛知万博  
(EXPO 2005 AICHI)

## 3 テーマ

「自然の叡智」(Nature's Wisdom)  
(サブテーマ)

- ① 「宇宙、生命と情報」(Nature's Matrix)
- ② 「人生の“わざ”と智慧」(Art of Life)
- ③ 「循環型社会」  
(Development for Eco-communities)

## 4 開催期間

2005年3月25日～2005年9月25日  
(185日間)

## 5 会場

愛知県瀬戸市の南東部、長久手町の愛知青少年公園及び豊田市の科学技術交流センター予定地

## 6 目標入場者数

1500万人以上

## 開催の基本方針

## 1 事業企画の基本方針

- ① 生命、宇宙など未知の自然へのアプローチ
- ② ITの徹底した実用化と新たな実験
- ③ 自然と共にある暮らしの喜び

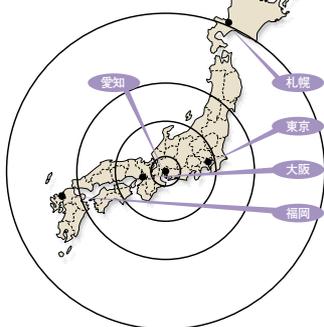
## 2 事業実施の重点方針

- ④ 楽しく魅力的な高齢社会のモデル
- ⑤ アジアの国々を可能な限り包含した世界各国の文化・文明との対話
- ⑥ 環境負荷の低い、循環型社会のモデル

- ① 多様な形態による市民参加
- ② 中部地域の発展と技術力の活用
- ③ 広域連携のネットワークの構築
- ④ 楽しさ、おもしろさの演出

## 開催地域の特質

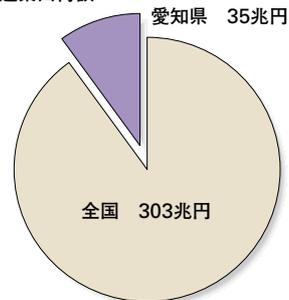
## ■中部・愛知は日本の中心



## 1 中部圏・愛知はハートランド・オブ・ジャパン

日本列島の中心に位置し、日本の文化、歴史、社会システムの縮図となっています。また、鉄道や自動車における高速交通体系の要です。

## ■製造業出荷額

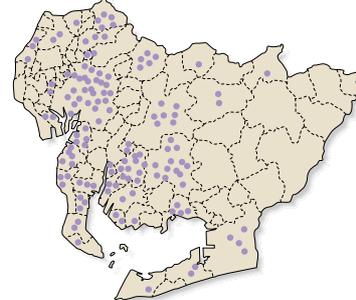


平成12年度工業統計調査

## 2 各々の時代でモノづくりをリードしてきたハイテクランド

愛知は、焼き物は1300年、織物など伝統工芸は500年、鉄道、航空機、自動車等乗り物は100年の歴史を有します。

## ■愛知県内の産業文化観光施設分布



企業博物館、見学可能な工場など

## 3 未来の産業文化観光を担うエリア

開催地域は、歴史、文化資源に加えて産業文化観光資源も豊富であり、さらに日本三大都市圏の一つとして、極めて高い潜在力を持ちます。

発行/  
財団法人  
2005年日本国際博覧会協会  
発行日/2001年(平成13年)10月24日  
編集/楠本 孝  
部 数/160,000部

名古屋事務所  
〒450-0002 名古屋市中村区名駅三丁目15-1  
名古屋ダイヤビルディング2号館4階  
Tel.052-569-2005 Fax.052-569-2100

東京事務所  
〒100-0011 東京都千代田区内幸町二丁目1-1  
飯野ビル7階  
Tel.03-5521-1601 Fax.03-5521-1607



インターネットホームページアドレス

<http://www.expo2005.or.jp>

「EXPOの耳」Eメールアドレス

[voicebox@expo2005.or.jp](mailto:voicebox@expo2005.or.jp)



この印刷物は、再生紙  
(古紙含有率100%)を  
使用しています。



この広報誌の制作にあたっては日本自転車振興会  
「競輪公益資金」の補助を受けました。

EXPO 2005 AICHIだより 2001.10.24